

第1回（仮称）藻岩・啓北商業再編新設校校名検討委員会 議事録

1 日 時 令和7年6月2日（月）15時30分～16時20分

2 場 所 市立札幌藻岩高等学校 3階 多目的室

3 出 欠 (1)出席 委員 9名

事務局6名（佐藤部長、田中課長、久保課長、谷川係長、飯田、木原）

(2)欠席 委員 2名（佐藤委員、富田委員）

4 傍聴者 報道記者 2名（北海道新聞社、北海道通信社）

5 議 事

（仮称）藻岩・啓北商業再編新設校の校名検討について

(1)校名検討の背景

(2)校名決定の方法（案）

(3)スケジュール（案）

(4)選考部会

【開 会】

札幌市情報公開条例第21条に基づき公開とする。

【学校教育部長挨拶】

（要 旨）

札幌市では少子化の進行に伴い中学校卒業者数が減少し、市立高校の規模縮小が課題となっていることから藻岩高校と啓北商業高校を発展的に再編し、令和9年4月に新しい高校を開校する。新設校では地域と連携し、生徒の主体的な学びを促進しながら、両校の伝統や特色を受け継ぎ発展させていきたいと考えている。新設校の校名は、市民から公募する案をもとに、皆さまの力を借りて、新しい学校の未来を支えるにふさわしい名前を一緒に考えていきたい。

【委員長及び副委員長の互選】

事務局提案が承認され、以下のとおり選出された。

委員長 引地委員（国公立大学法人北海道教育大学札幌校元特任教授）

副委員長 中井委員（高校・特別支援学校長会副会長）

【議 事】

(1)～(4)について事務局から説明

(概 要)

○資料4について、スクールミッション及び特徴が「○○」と空白になっているが、教育委員会議で決定した後、空欄を埋め市民の方に提供する。市民に提供する際に委員にも改めてパンフレットを送付する。

○次回の会議について、選考部会で10点程度に整理した推薦作品のほか、事前にすべての公募作品を委員の方に提供する。

【選考部会委員の互選】

委員長提案が承認され、以下のとおり選出された。

中井副委員長

梅田委員（市立札幌藻岩高等学校生徒会庶務）

富田委員（市立啓北商業高等学校生徒会啓流編集委員長）

【質疑応答】

(A委員) 校名を公募できる人の条件はあるか。

(事務局) 資料4の裏面米印にあるとおり、札幌市民に限定する。

(B委員) 小学校の校名を検討する際にかなり時間を要したが、高校ということもあり、公募範囲が広がるため校名決定までの期間が短いように感じる。

(事務局) 校名決定に時間がかかってしまう場合は、臨時で選考部会を開催したり、会議数を増やしたりすることも想定している。

(B委員) 日程調整表を今日提出できない。後日、どのように提出したらよいか。

(事務局) 町内会の場合は、当課へ電話連絡やまちづくりセンターに提出、教育委員会へFAXしてほしい。

(C委員) 日程調整表の提出期限はいつか。また、学校の場合はどのように提出すべきか。

(事務局) 6月中に学校経由で事務局まで提出してほしい。

(A委員) 校名公募について、アルファベットやカタカナなど文字に制限はあるか。

(事務局) 制限はない。「市立札幌○○高等学校」の○○に入る内容を募集する。

(16時20分閉会)